

# 日光昔物語

## 第一話

### ～ 日光橋 ～



日光橋(明治44年ごろ)



現在の日光橋

日光橋は寛永13年(1636)、東照宮の大規模な増改築が行われた際に一般通行用の仮橋として架けられました。同時に、それまで利用されてきた神橋は、一般の通行が禁止されました。以来、日光橋は二社一寺や中禅寺・湯元・足尾方面への通行手段として重要な役割を果たしてきました。明治43年(1910)には日光電気軌道が開業し、その軌道が橋の上を通るなど、橋の存在は人々の生活の中でま

すまず重要になっていきました。昭和30年代に入ると、自動車の普及により交通量が増加。日光橋や周辺道路の拡幅が計画されました。この計画は、太郎杉や景観の保全をめぐる全国的にも話題になりました。昭和38年、日光橋は歩道の付いた現在のものに架け替えられました。最初の架橋から370年。日光橋は、今も大谷川を渡る大切な通行手段として、多くの市民や観光客に利用されています。

### 3月の人口と世帯数

|     |                |
|-----|----------------|
| 人口  | 96,148人 (-141) |
| 男   | 46,900人 (-78)  |
| 女   | 49,248人 (-63)  |
| 世帯数 | 35,835世帯 (-47) |

※ ( ) は前月比

子育て支援センターで楽しそうに遊ぶ子どもたち。その無邪気な姿に、まわりの人たちの顔も自然とほころびます。子どもも大人も、安全で安心して暮らせるまちづくりを望んでいます。みんなの笑顔が、いつでも、いつまでも輝く未来を目指して。生まれ変わった新日光市に期待してください。

### 表紙の写真



### 一喜一憂

30年振りという今シーズンの冬の寒さもようやく和らぎ、めっきりと春を感じるようになってきました。

4月といえば、入学式や入社式など、さまざまな意味でスタートの月です。「広報日光」も、新「日光市」誕生を機に、今月号から新たにスタートすることになりました。発行は、毎月1日(本紙版)と15日(お知らせ版)の月2回となります。

編集に当たっては、市民の皆さんが知りたいことや市が知らせたいことを分かりやすく、そして地域間のバランスにも配慮した紙面づくりに努めます。広報紙に対するご意見や地域の情報などをお寄せください。皆さんの広報紙として、大きく育てていければと考えています。スタートしたばかりの「広報日光」ですが、市と市民、地域と地域、人と人との架け橋として、皆さんに愛される広報紙を目指していきます。編集員一同、精一杯がんばります。(辺)